【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和6年9月24日(2024.9.24)

【国際公開番号】WO2024/003968
【出願番号】特願2024-530079(P2024-530079)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ 41/20(2018.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ 41/20

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月12日(2024.7.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の光源を有する光源部と、
入射面及び出射面を有し、前記複数の光源の発光面からそれぞれ発せられた複数の光が前記入射面から入射し、入射した前記複数の光を前記出射面から複数の投射光として投射して、前記複数の投射光で配光を形成する単一の光学部と、
前記複数の光源の前記発光面からそれぞれ発せられた前記複数の光の光束径の大きさを制限する構造と、
を備えたことを特徴とする前照灯装置。
【請求項２】
前記光学部の前記入射面は、集光機能を持つ少なくとも１つの集光領域を含む
ことを特徴とする請求項１に記載の前照灯装置。
【請求項３】
前記構造は、前記発光面と前記入射面との間に配置され、前記発光面からそれぞれ発せられた前記複数の光を通過させる複数の開口を有するシェードを含む
ことを特徴とする請求項２に記載の前照灯装置。
【請求項４】
前記複数の開口の形状は、矩形又は予め決められた方向に向けて幅が徐々に狭くなる形状である
ことを特徴とする請求項３に記載の前照灯装置。
【請求項５】
前記複数の光の内の前記複数の開口のいずれかを通過して前記入射面に当たる入射光の入射領域の面積は、
前記複数の光源のうちの、前記入射光に対応する光源の発光面の面積より小さい、
ことを特徴とする請求項４に記載の前照灯装置。
【請求項６】
前記複数の光源の前記発光面は、同一平面上に配置されている
ことを特徴とする請求項５に記載の前照灯装置。
【請求項７】
前記少なくとも１つの集光領域は、前記光源部に向けて突き出ており、予め決められた延在方向に延在する頂部を持つ凸状部を有し、
前記少なくとも１つの集光領域の、前記延在方向に直交する方向に切る断面形状は、前

記延在方向の位置に依存しない同じ形状である
ことを特徴とする請求項６に記載の前照灯装置。
【請求項８】
前記少なくとも１つの集光領域は、前記光源部に向けて突き出ており、予め決められた方向に延在する頂部を持つ凸状部を有し、
前記少なくとも１つの集光領域のプロファイルは、前記凸状部の前記頂部を間に挟んで一方の側と他方の側とで互いに異なる、
請求項７に記載の前照灯装置。
【請求項９】
前記複数の光源の前記発光面から発せられた前記複数の光は、前記光学部の複数の光学面のうちの２つの光学面を通過して、前記複数の投射光として投射される
ことを特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の前照灯装置。
【請求項１０】
前記光学部の前記出射面は、投射機能を持つ領域である少なくとも１つの投射領域を有する
ことを特徴とする請求項９に記載の前照灯装置。
【請求項１１】
前記複数の光源の前記発光面から発せられた前記複数の光は、前記光学部を介して、それぞれ個別の照射領域に投射される
ことを特徴とする請求項１０に記載の前照灯装置。